



# 高齢者補聴器購入助成が始まります!

対象: 65歳以上・非課税  
 助成: 25,000円  
 7月頃には実施にむけて準備

23区の実施状況			
	補助額	年齢要件	所得要件
港	137,000 (上限)	60歳以上	なし ※住民税課税の方は半額
中央	35,000	65歳以上	所得制限あり
渋谷	35,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
葛飾	35,000	65歳以上	住民税非課税(世帯)
江東	30,000	65歳以上	所得制限あり
文京	25,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
練馬	25,000	65歳以上	住民税非課税(世帯)
足立	25,000	65歳以上	住民税非課税(世帯)
荒川	25,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
豊島	20,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
板橋	20,000	65歳以上	住民税非課税(世帯)
墨田	20,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
江戸川	20,000	65歳以上	住民税非課税(本人)
大田	20,000	70歳以上	住民税非課税(世帯)

※千代田は高齢者に限らない制度あり  
 ※新宿・江東は現物支給

区議会にも区民の皆さんからの陳情なども寄せられてきただけに区民の声が行政を動かしていると感じます。

予算は126万円、利用者を50人程度と見込んでいます。これまで「来年度、体制などが整いしだい実施する」としていましたが、7月頃には実施ができるように準備をしていることが明らかになりました。(実施内容は左上) 同じく来年度から実施する港区(下)をみると荒川区でもせめて所得制限をなくし、希望するすべての人が利用できるように改善させていきたいと思えます。



繰り返して高齢者の補聴器購入助成に踏み出すべきだと求めてきました。自民党・公明党からも質問が出るなど超党派での要望となり、新年度予算に盛り込まれました。



日本共産党荒川区議団  
**小林行男**

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています  
 意見をお寄せください

## 区政ニュース

NO. 853  
 2022. 3. 27  
 区議会控室  
 TEL 3802-4627  
 FAX 3806-9246  
 Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
 ホームページ  
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/>  
 東尾久相談室  
 東尾久2-37-3  
 TEL・FAX 3895-0508

### 東尾久本町通りふれあい館 いよいよ開館!(4月1日)



全体ゆったりとしたスペースになっています。ひとりでものんびりできそう。



1階フロアはゆっりと隣の児童遊園にもそのまま出られます。



音楽室は防音仕立て。楽器、太鼓でもOK大きな鏡でダンスのレッスンも。



いこい室は和風作りで、イスとテーブルでのんびりと



舞台もついた40人定員の会議室

### 新年度からはじまる 港区の補聴器助成

○対象: 60歳以上、所得制限なし。

○助成額の上限: 13万7千円  
 住民税課税の人はその2分の1の6万8500円と実施自治体で最高額。

○早期発見のために「聞こえのチェックリスト」の活用など盛り込む

○新年度予算額 2272万4千円  
 [使い続けるための支援]

①購入前に補聴器相談医を受診  
 ②認定補聴器技能士による購入後のアフターケアを受けられる。



### あらかわ遊園・リニューアルオープン! 4月21日(木)午前9時



お待たせしました。ついにオープンを迎えます。コロナ禍の中で感染防止対策を徹底するとともに、オープン直後の大混雑を避けるため、事前予約制による入園制限を行っての開園になります。

- ◆事前予約制を行う期間: 4月21日から5月8日(日)まで
- ◆事前予約方法: あらかわ遊園のホームページからインターネットにより事前に予約を
- ◆予約開始日時:
  - 荒川区在住の方は4月4日(月)午前9時から
  - 荒川区外の方は4月11日(月)午前9時から

オープン記念グッズのプレゼントあり、先着1万名様



## 法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所  
 の弁護士による法律相談会をおこなっています。  
 できるだけ事前にご連絡ください。

### 4月の相談会は 4月19日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

# 女子医大跡地など2つの医療機関が開設



令和あらかわ病院予定病棟

女子医大東医療センターは、昨年未足立区江北に移転。区は土地・建物を取得し、新たな病院を誘致公募、南千住のリバーサイド病院などを運営する(医)正志会が運営事業者。

**現在、新型コロナウイルス対応で使用**  
当初、外来棟を「令和あらかわクリニック」として今年2月に開院、東病棟は「令和あらかわ病院」として2023年1月開院予定で病棟の整備を進めてきましたが、外来棟2階をワクチン接種会場に3月いっぱい使用、東病棟は新型コロナウイルス感染者の臨時医療施設として5月中旬まで使用予定にしています。外来での診療ははじまりますが、入院の受け入れ時期は未定になっています。



**「令和あらかわクリニック」が外来診療を4月1日(金)からオープン。**  
旧女子医大東医療センターの建物を活用して開院。診療科目は、内科・総合診療科・産婦人科です。3月中、各診療科プレオープン兼リハーサルを実施。  
さらに、「令和あらかわ病院」(240床)が2023年の春にオープンを予定しています。



## 町屋の木村病院が南千住に移転

木村病院は、町屋から南千住1丁目(都電一中前停留所そば)に移転します。現在建設中で5月6日(金)から外来診療を開始予定。診療科目は現在の11科目から17科目に、病床数も88床から99床(一般急性期39床・地域包括病床60床を予定)に増やします。

また、新しい病院では、MRI、高気圧酸素療法、透析も始めます。



新病院の完成イメージ

※診療科目  
内科・外科・整形外科・血管外科・脳神経外科・リハビリテーション科・腎臓内科・皮膚科・消化器内科・肛門外科・糖尿病内科・循環器内科・呼吸器内科・泌尿器内科・美容皮膚科・美容外科

医療体制整備の基準となる医療圏は、荒川区・足立区・葛飾区の3区で構成されています。

「令和あらかわ病院」の開業まで、あと1年かかります。区内の入院体制が手薄になります。新型コロナウイルスの今後の感染拡大に備えた医療体制整備を各医療機関とも連携して進めることが必要だと思えます。



## 町屋駅前ツタヤ書店の後はコンビニとリユースショップ



町屋駅前のツタヤ書店が入っていたビルが完成が近づいています。はたしてどんなお店が入るのだろうか?

区の産業振興課に聞いてみました。

1階はセブンイレブン、2階はリユースショップ(古着等の販売など)を行う(株)セカンドストリーの店舗が入るそうです。



会社のホームページより(株)セカンドストリート 2019年12月会社設立 全国700店舗以上で展開中。  
中古品買取と販売を行う総合リユースショップ。洋服(古着)・バックを中心に幅広く取り扱っています。

## 中学校トイレに生理用品設置

コロナ禍で「生理の貧困」という言葉が話題になり、生理用品を希望する方に配布したり、学校・公共施設のトイレに置く自治体も増えています。



荒川区では、昨年3月から希望者に生理用品の配布をはじめ(区役所2階子育て支援課、アクト21、区保健所)現在でも継続中です。

さらに今年から区立中学校のトイレに生理用品の設置が始まりました。当初区は「保健室に常備している。トイレに設置すると養護教員への相談の機会が減る」としていましたが、議会内外からの要望も多く、第4中に試験的に設置。その後、1月下旬より全校で実施。養護教員への相談は設置後、逆に増えているそうです。



○桜の開花宣言が出されました。一方、ロシアのウクライナ侵略から一ヶ月。悲惨な状況が連日報道され多くの皆さんが胸を痛めています。全世界の世論を大きく広げて一刻も早く武力行使をやめさせて平和的に解決の道筋をつけられるようにしたい。日本国内で「核共有」という声があるが、唯一の戦争被爆国の日本で絶対に認められない。

